

宇和島伊達 400 年祭 5 月 2 日 ぶらり宇和島 伊達なまちあるき

5月2日(土)、「ぶらり宇和島 伊達なまちあるき」が開催されました。このイベントは、市内の名所を携帯ラジオを片手に、FMガイヤから流れる解説を聞きながら歩くという企画です。

コースは、天赦園～法円寺～木屋旅館～桑折氏武家長屋門～宇和島城天守～城山郷土館の6カ所を巡る約5キロのコースです。

各チェックポイントでは、スタンプラリーの押印ができ、すべてのポイントを集めると、最後に抽選会に参加できる抽選券になります。

初夏の強い日差しの下、840人の参加者はチームごとに分かれ、各名所の歴史や豆知識に耳を



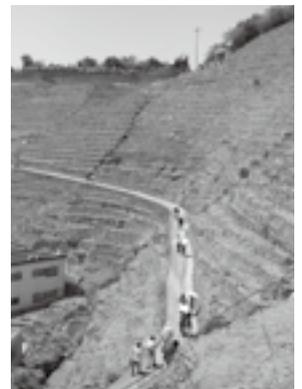
傾けながら歩きました。途中にはお菓子やジュースなどのおもてなしポイントも設置され、湯いたのどを潤す人で賑わいました。

空まで続く実りの階段 ふる里だんだん祭り 4 月 26 日

遊子水荷浦の段畑下特設会場にて、第14回ふる里だんだん祭りが開催されました。

ここ数年は小雨など天候に恵まれませんでした。今年には夏のような日差しの好天のもとで開催されました。普段は静かに実りをたたえる段畑では、多くの来場者が散策し、間近でその雄大さと先人の苦勞を感じていました。

今回のだんだん祭りでは、バレイショの即売会、ステージイベントに加え、水産高校の生徒によるブリの解体ショーと、タレントのさかなクンによるクイズショーが行われました。クイズでは、来場した多くの子どもたちが元気に手を上げてクイズに回答し、さかなクンの説明に興味深く聞き入っていました。



宇和島伊達 400 年祭 5 月 4 日 お城まつり 蹴鞠イベント

5月4日(月祝)、「宇和島伊達400年祭 お城まつり」が開催され、その中の自主企画イベントとして、宇和島城天守前広場を会場に、飛鳥時代の蹴鞠が再現されました。

このイベントは宇和島市出身で、現在は奈良市で蹴鞠の保存活動に取り組んでいる浜村 新作さんが、奈良市の春日大社に伊達家とゆかりのある鎧があることを知り、今回の企画を提案して実現しました。市内の中高生、社会人選抜、市役所チームが浜村さん率いる奈良チームと対戦を行いました。

飛鳥時代の蹴鞠は平安蹴鞠とは異なりスポーツ性が強いのが特徴です。当時の衣装を模した服装に身を包んだ選手は、熱戦を繰り広げたり、ときには珍プレーで笑いを誘ったりと、観客を楽しませていました。



宇和島市が世界で唯一の自生地 トキワバイカツツジ 4 月下旬

世界で唯一、宇和島市津島町にのみ自生する植物、トキワバイカツツジが今年も花を咲かせました。

トキワバイカツツジは、日本で広く咲いているツツジとは異なり、薄紅紫の小ぶりの花を咲かせます。また、インターネットで販売されたり、植物園などで公開もされたりもしていますが、自生している場所は宇和島市津島町の一部地域のみです。



その自生地の少なから、愛媛県の絶滅のおそれのある野生生物を登録した「愛媛県レッドデータブック2014」にも登録されています。※保護の必要があるため、詳しい自生地の記載は控えています。